

平成23年9月1日

各 位

大阪市信用金庫
大阪市中央区北浜 2-5-4

大阪市信用金庫

「東日本大震災復興応援定期」義援金を 5つの団体へ総額1016万円寄託

大阪市信用金庫は、「<市信>東日本大震災復興応援定期預金」を、今年4月18日から6月13日まで取り扱いしましたが、その預入総額101億6152万円の0.1パーセントにあたる10,161,520円を、下記のとおり5団体に寄託しました。

当金庫は、「東日本大震災」の義援金として既に大阪市へ1,000万円を寄託し、街頭募金活動を実施するなど、地域金融機関として震災復興に向けた社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

記

1. 趣 旨

平成23年4月18日から取り扱いを開始した「<市信>東日本大震災復興応援定期預金」が、平成23年6月13日に募集額100億円に達し、取り扱いを終了しました。この預入総額101億6152万373円（6月30日現在）の0.1パーセントにあたる10,161,520円を大震災復興のため、日本赤十字社など5団体に寄託しました。

2. 商品内容

- | | |
|---------|--|
| ① 商品名 | <市信>東日本大震災復興応援定期預金 |
| ② 商品形態 | スーパー定期預金（1年もの） |
| ③ 適用金利 | 年0.10%（店頭表示金利+0.06%） |
| ④ 募集額 | 100億円（募集額に達成した場合は終了する。） |
| ⑤ 取扱期間 | 平成23年4月18日（月）～9月30日（金） |
| ⑥ 寄 託 額 | 預入総額の0.1パーセントに相当する金額。東日本大震災復興支援を目的として、日本赤十字社など各義援金受付団体、国・地方公共団体等を通じて被災者へ届ける。 |

3. 寄 託 先

① 大阪マラソン復興支援チャリティ（寄託額：200万円）

当金庫が唯一、地域金融機関として協賛している「大阪マラソン 2011」は、チャリティマラソンであることを大会の特徴として打ち出しています。このチャリティは、東日本大震災復興支援のために新たに設けられたもので、義援金は、社会福祉法人「読売 光と愛の事業団」を通じ、震災復興支援を行っている諸団体へ直接配布されます。

② 財団法人 大阪国際児童文学館（寄託額：200万円）

大阪国際児童文学館は、児童文学等の児童文化に関する図書その他の資料の収集、保存、活用、研究で児童の健全育成に寄与されています。集まった義援金は毎日新聞社 大阪社会事業団を通じて、東日本大震災で被災した地域の学校、幼稚園、保育所、地域文庫へ子供の本を購入して贈られます。

③ 公益財団法人 大阪YMCA（寄託額：200万円）

大阪YMCAは市民運動の拠点として明治15年に設立されました。国際的ネットワークを活かし、地震や津波などの災害救援に青年ボランティアの派遣も行い、国際理解や平和教育、環境教育、人権教育という分野で多くのボランティアと共に地道に活動を展開しています。東日本大震災でも積極的に募金活動を行い、ボランティアの活動資金としています。

④ 公益社団法人 日本フィランソロピー協会（寄託額：200万円）

日本フィランソロピー協会は平成3年から、企業の社会貢献活動を中心に、従業員はじめ一般市民のボランティア・マインド、寄付文化を醸成するための活動を行っています。この震災でも「フィランソロピーバンク、東日本大震災基金」としてNPO・NGOなどと連携し、必要とされる支援を行うために義援金を預かり、顔の見える関係づくりの中で、支援ステージに応じた寄付金分配を行っています。なお、当金庫は2005年の第3回企業フィランソロピー賞で、コミュニティフィランソロピー賞を受賞しています。

⑤ 日本赤十字社（寄託額：2,161,520円）

全国から集まった義援金を被災都道県に配分するため、日本赤十字社、中央共同募金会をはじめとする義援金受付団体を構成メンバーとする「義援金配分割合決定委員会」が設置され、被災状況に応じて被災都道県へ義援金を配分されています。